

新日軽 カーポートシュガースペースⅡ

縦・横連棟用 取付説明書

取付説明書番号 ME-1625

改-1

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
- 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

※本組立作業は、必ず屋根材を取付ける前に行ってください。

◎組立・施工の前に

- 本取付説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。この取付説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

梱包内容明細

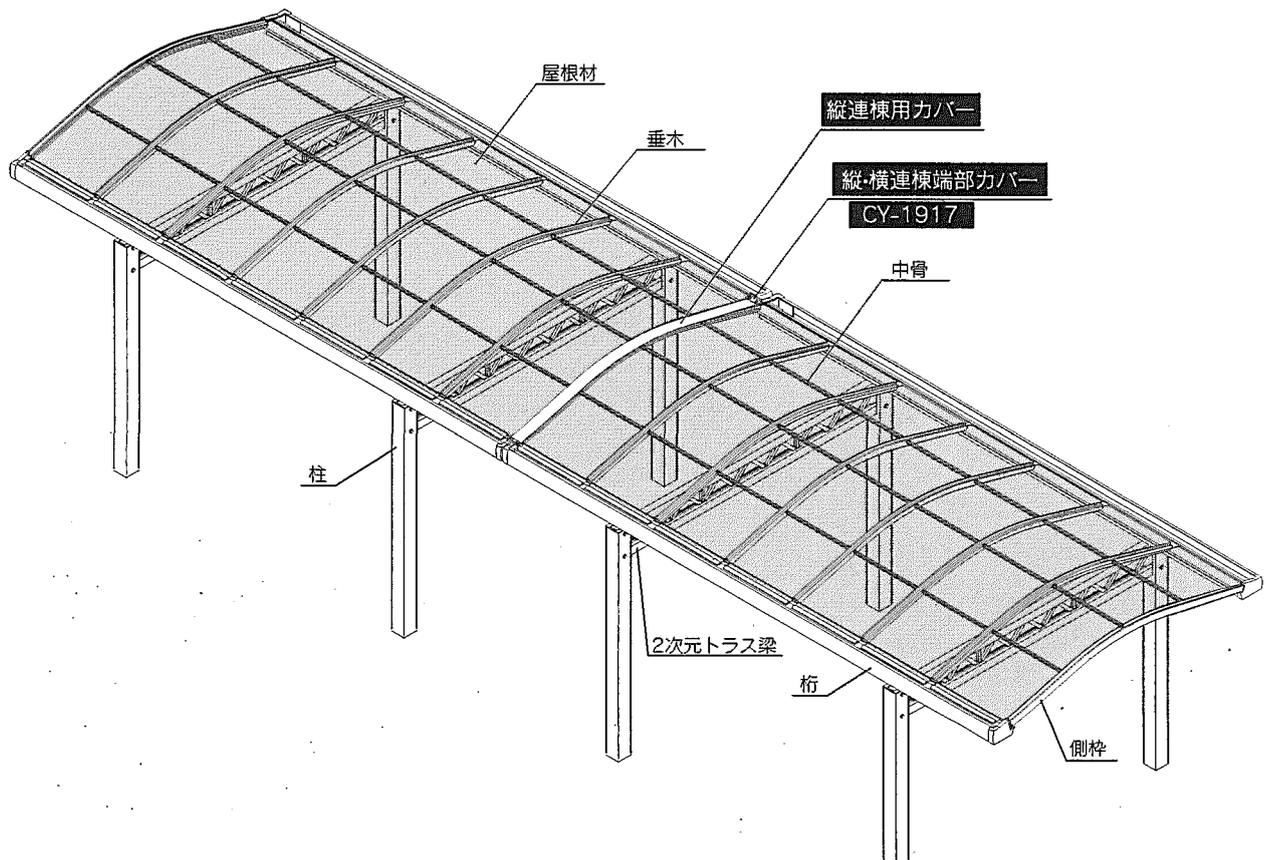
梱包名称	部品名称			数量
横連棟用カバー	横連棟用カバー			2本入り
	縦横連棟用セット部品 (SE-1520-01)	縦・横連棟端部カバー	CY-1917	2
		連棟部材連結金具	EB-2270	1
		M4×16ゴムワッシャ付セルフドリリングビス	BN-310-04	36
		縦・横連棟用カバー 取付説明書	ME-1625	1
縦連棟用カバー	縦連棟用カバー			1本入り
	縦横連棟用セット部品 (SE-1520-02)	縦・横連棟端部カバー	CY-1917	2
		M4×16ゴムワッシャ付セルフドリリングビス	BN-310-04	34
		縦・横連棟用カバー 取付説明書	ME-1625	1

1 縦連棟の組立

※ 横連棟組立の場合は、4ページからご覧ください。

構造説明図

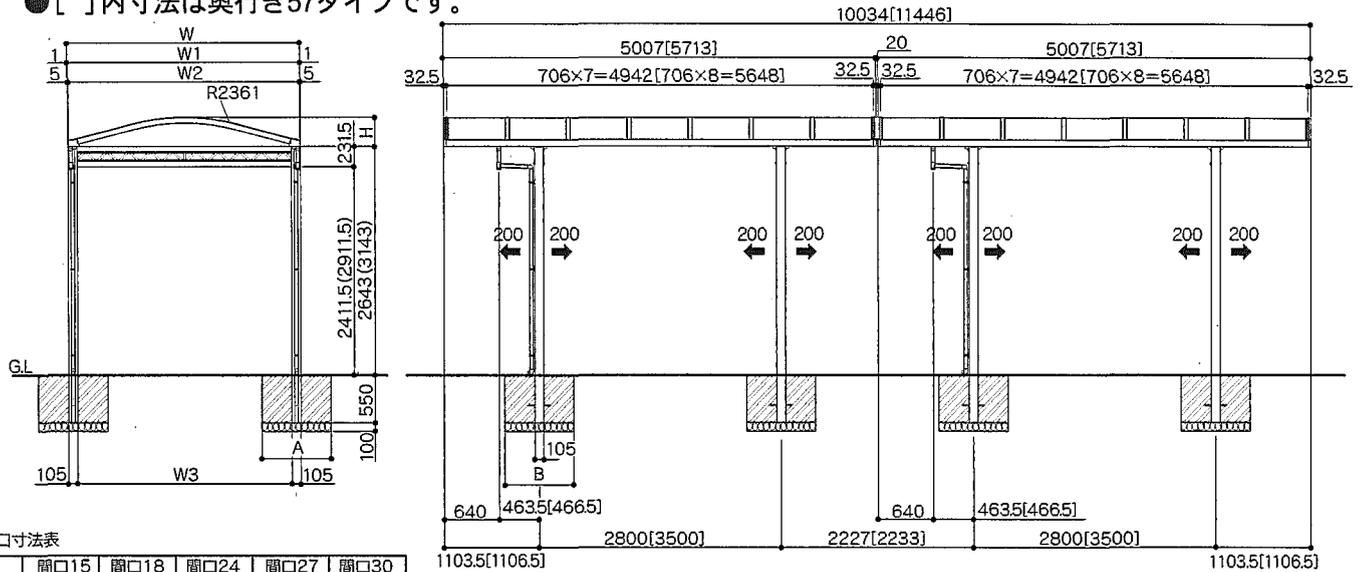
※本図は、2次元トラス梁縦2連棟を表しています。



納まり図(縦連棟 2連棟)

■ シュガースペースⅡ 2次元トラス梁用(縦連棟、2連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は、間口27、奥行50+50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。



単体間口寸法表

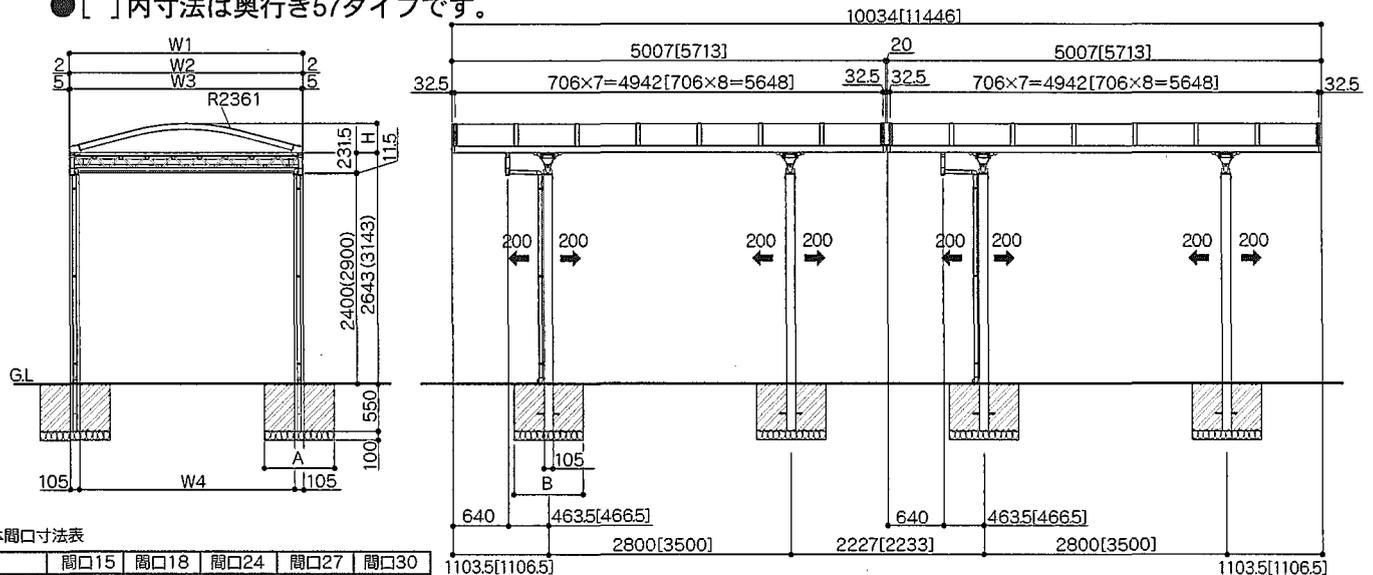
	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W	1487	1784	2378	2675	2972
W1	1485	1782	2376	2673	2970
W2	1475	1772	2366	2663	2960
W3	1275	1572	2166	2463	2760
H	178	218	298	337	377

●→は柱移動範囲を表します。

納まり図(縦連棟 2連棟)

■ シュガースペースⅡ 3次元トラス梁用(縦連棟、2連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は、間口27、奥行50+50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。



単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W1	1489	1786	2380	2677	2974
W2	1485	1782	2376	2673	2970
W3	1475	1772	2366	2663	2960
W4	1275	1572	2166	2463	2760
H	178	218	298	337	377

●→は柱移動範囲を表します。

※土間コンクリートを併用しない場合

単位(mm)

サイズ	基礎寸法A×B
間口15×奥行50・57	500×500
間口18×奥行50・57	
間口24×奥行50・57	
間口27×奥行50・57	
間口30×奥行50・57	

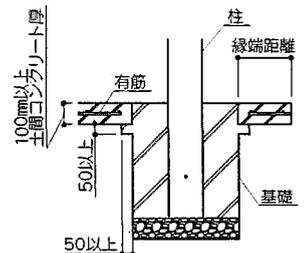
※土間コンクリートを併用する場合

単位(mm)

サイズ	基礎寸法A×B	縁端距離
間口15×奥行50・57	400×400	200
間口18×奥行50・57		
間口24×奥行50・57		
間口27×奥行50・57		
間口30×奥行50・57		

【土間コンクリート併用の基礎条件】

- 土間コンクリートの厚みが100mm以上であること。
- 有筋であること。
- 土間コンクリートの下部に、50mm×50mm以上の突起部を基礎全周に設けること。
- 基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が左記寸法以上であること。
- 地耐力が50Kn/m²以上であること。

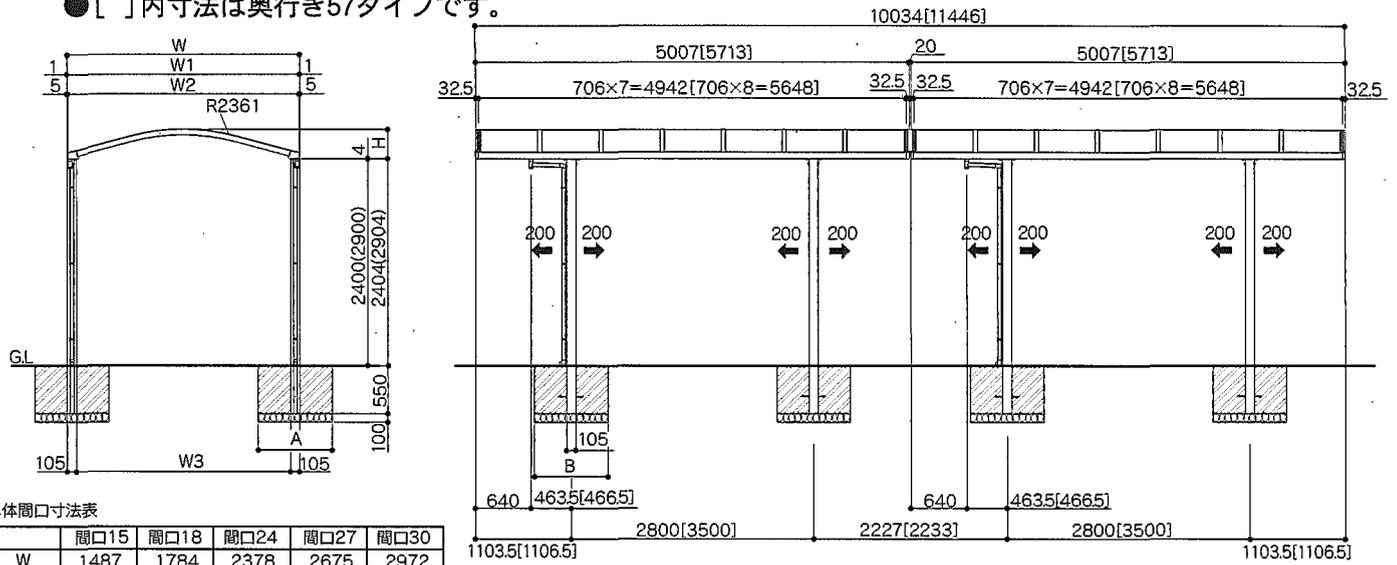


日本エクステリア工業会
カーポート基礎共同研究会
報告書より

納まり図(縦連棟 2連棟)

■ シュガースペースⅡ 柱建用(縦連棟、2連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は、間口27、奥行50+50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行き57タイプです。



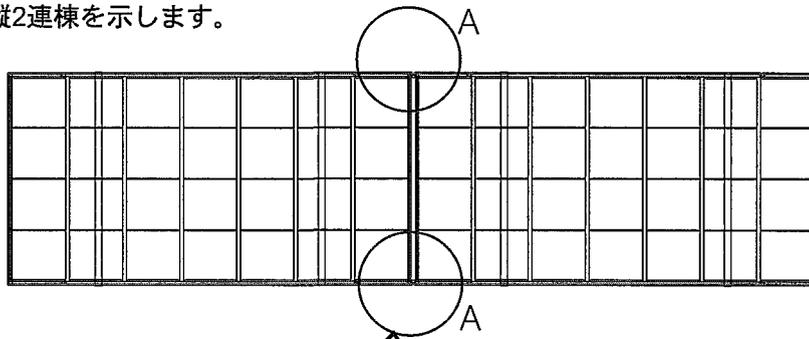
単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W	1487	1784	2378	2675	2972
W1	1485	1782	2376	2673	2970
W2	1475	1772	2366	2663	2960
W3	1275	1572	2166	2463	2760
H	178	218	298	337	377

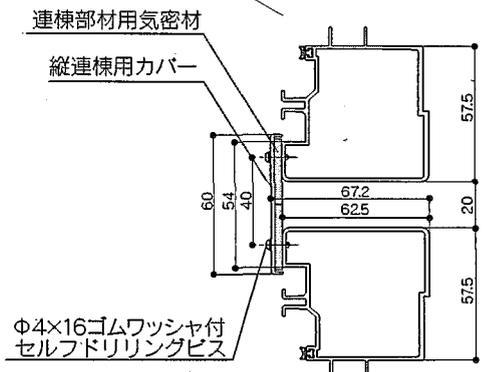
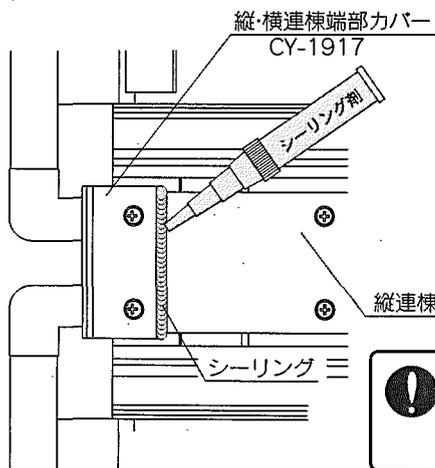
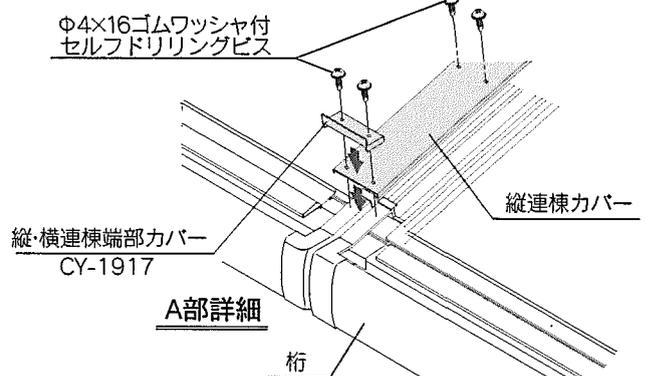
- → は柱移動範囲を表します。
- 基礎寸法A×Bは2ページを参照してください。

※本図は2次元トラス梁縦2連棟を示します。

縦連棟



- ① 連棟部に縦連棟カバーを載せ、Φ4×16ゴムワッシャ付きセルフドリリングビスにて取付けてください。
- ② 縦・横連棟端部カバーを取付け縦連棟カバーと共に桁にビス止めしてください。
- ③ 連棟接続部をシーリングしてください。

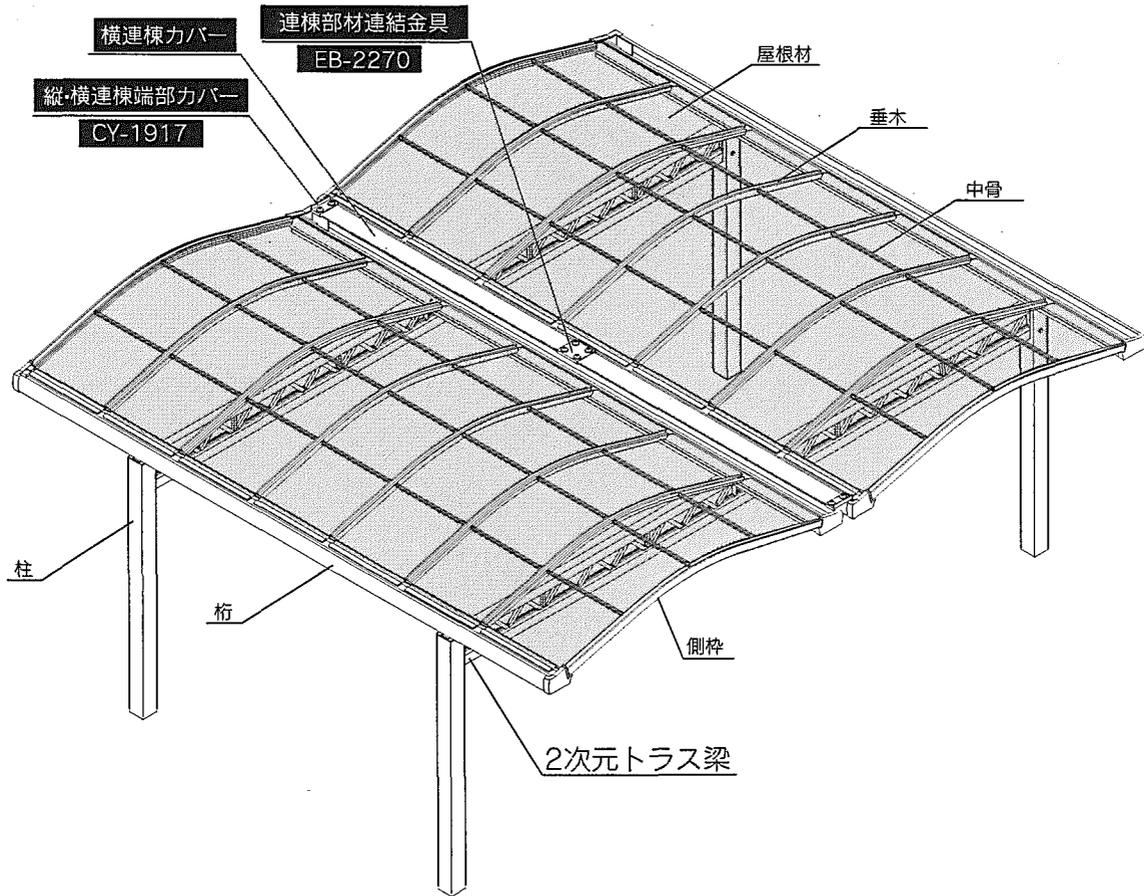


! 屋根材を施工する際、シーリングで屋根材を汚さないでください。

2 横連棟の組立

構造説明図

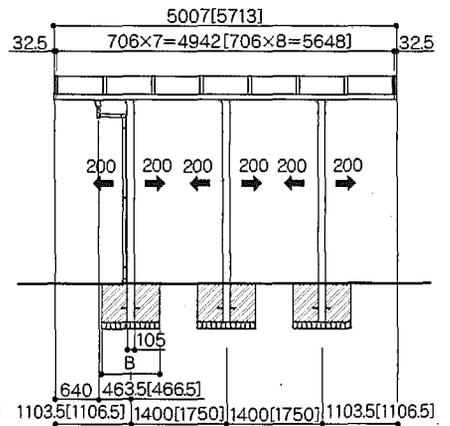
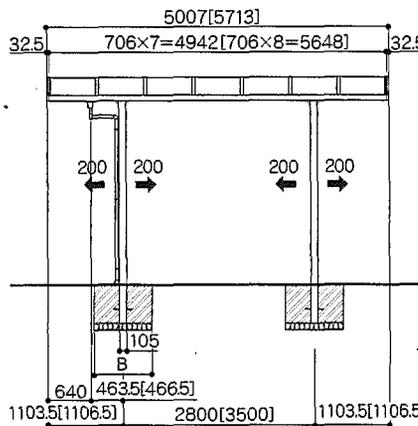
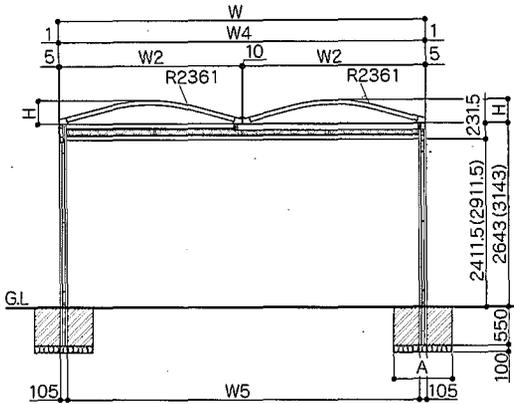
※本図は、2次元トラス梁横2連棟を表しています。



納まり図(横連棟 2連棟)

■ シュガースペースⅡ 2次元トラス梁用(横連棟、2連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は間口27+27、奥行50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。



横連棟間口寸法表

	間口30	間口33	間口36	間口39	間口42	間口45	間口48	間口51	間口54	間口60
W	2972	3269	3566	3863	4160	4457	4754	5051	5348	5942
W4	2970	3267	3564	3861	4158	4455	4752	5049	5346	5940
W5	2760	3057	3354	3651	3948	4245	4542	4839	5136	5730

単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W2	1475	1772	2366	2663	2960
H	178	218	298	337	377

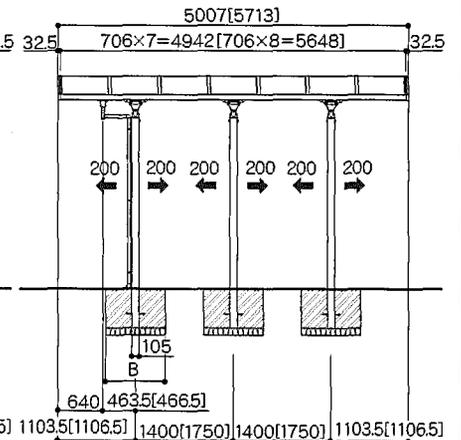
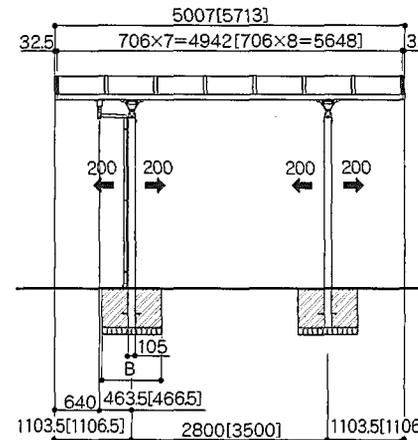
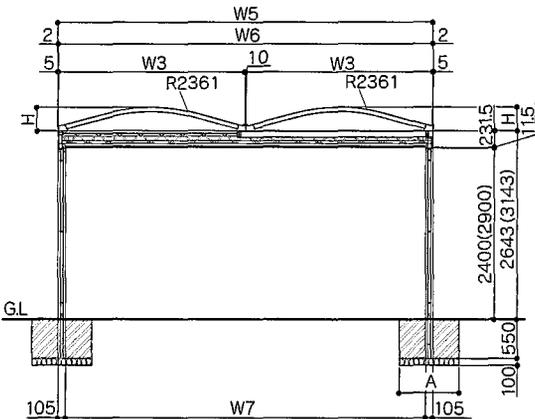
●→は柱移動範囲を表します。

※屋根間口が60の場合、柱6本仕様となります。

納まり図(横連棟、2連棟)

■ シュガースペースⅡ 3次元トラス梁用(横連棟、2連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は間口27+27、奥行50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。



横連棟間口寸法表

	間口30	間口33	間口36	間口39	間口42	間口45	間口48	間口51	間口54	間口60
W5	2974	3271	3568	3865	4162	4459	4756	5053	5350	5944
W6	2970	3267	3564	3861	4158	4455	4752	5049	5346	5940
W7	2760	3057	3354	3651	3948	4245	4542	4839	5136	5730

単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W3	1475	1772	2366	2663	2960
H	178	218	298	337	377

●→は柱移動範囲を表します。

※屋根間口が60以上の場合、柱6本仕様となります。

※土間コンクリートを併用しない場合

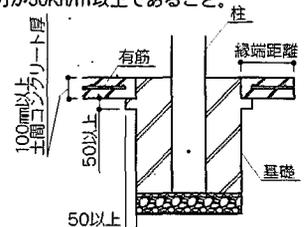
サイズ	基礎寸法A×B
間口30×奥行50・57	500×500
間口33×奥行50・57	
間口36×奥行50・57	
間口39×奥行50・57	650×650
間口42×奥行50・57	
間口45×奥行50・57	
間口48×奥行50・57	
間口51×奥行50・57	
間口54×奥行50・57	700×700
間口60×奥行50・57	

※土間コンクリートを併用する場合

サイズ	基礎寸法A×B	縁端距離
間口30×奥行50・57	400×400	200
間口33×奥行50・57		
間口36×奥行50・57		
間口39×奥行50・57	450×450	
間口42×奥行50・57		
間口45×奥行50・57		
間口48×奥行50・57		
間口51×奥行50・57		
間口54×奥行50・57	500×500	
間口60×奥行50・57		

【土間コンクリート併用の基礎条件】

- 土間コンクリートの厚みが100mm以上であること。
- 有筋であること。
- 土間コンクリートの下部に、50mm×50mm以上の突起部を基礎全周に設けること。
- 基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が左記寸法以上であること。
- 地耐力が50kN/m²以上であること。

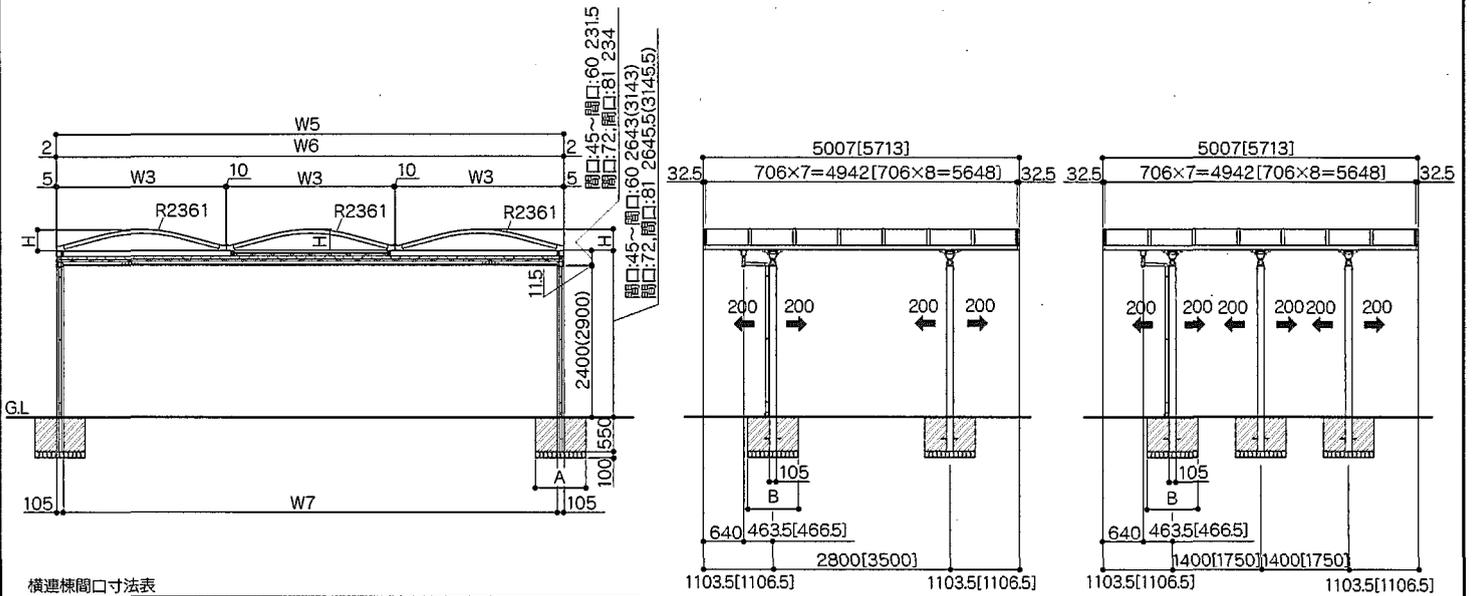


日本エクステリア工業会
カーポート基礎共同研究会
報告書より

納まり図(横連棟 3連棟)

■ シュガースペース II 3次元トラス梁用(横連棟、3連棟)

- () 内寸法は柱高2900タイプです。 ● 本図は間口27+27+27、奥行50、柱高2400タイプです。
- [] 内寸法は奥行57タイプです。



横連棟間口寸法表

	間口45	間口48	間口51	間口54	間口60	間口72	間口81
W5	4459	4756	5053	5350	5944	7132	8023
W6	4455	4752	5049	5346	5940	7128	8019
W7	4245	4542	4839	5136	5730	6918	7809

単体間口寸法表

	間口15	間口18	間口24	間口27	間口30
W3	1475	1772	2366	2663	2960
H	178	218	298	337	377

● → は柱移動範囲を表します。

※屋根間口が60以上の場合、柱6本仕様となります。

※土間コンクリートを併用しない場合

※土間コンクリートを併用する場合

単位(mm)

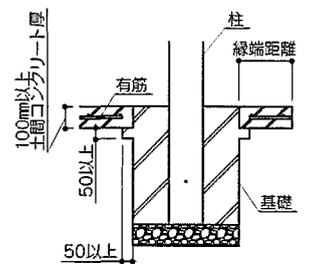
サイズ	基礎寸法A×B
間口45×奥行50・57	650×650
間口48×奥行50・57	
間口51×奥行50・57	
間口54×奥行50・57	
間口60×奥行50・57	700×700

単位(mm)

サイズ	基礎寸法A×B	縁端距離
間口45×奥行50・57	450×450	200
間口48×奥行50・57		
間口51×奥行50・57		
間口54×奥行50・57		
間口60×奥行50・57		

【土間コンクリート併用の基礎条件】

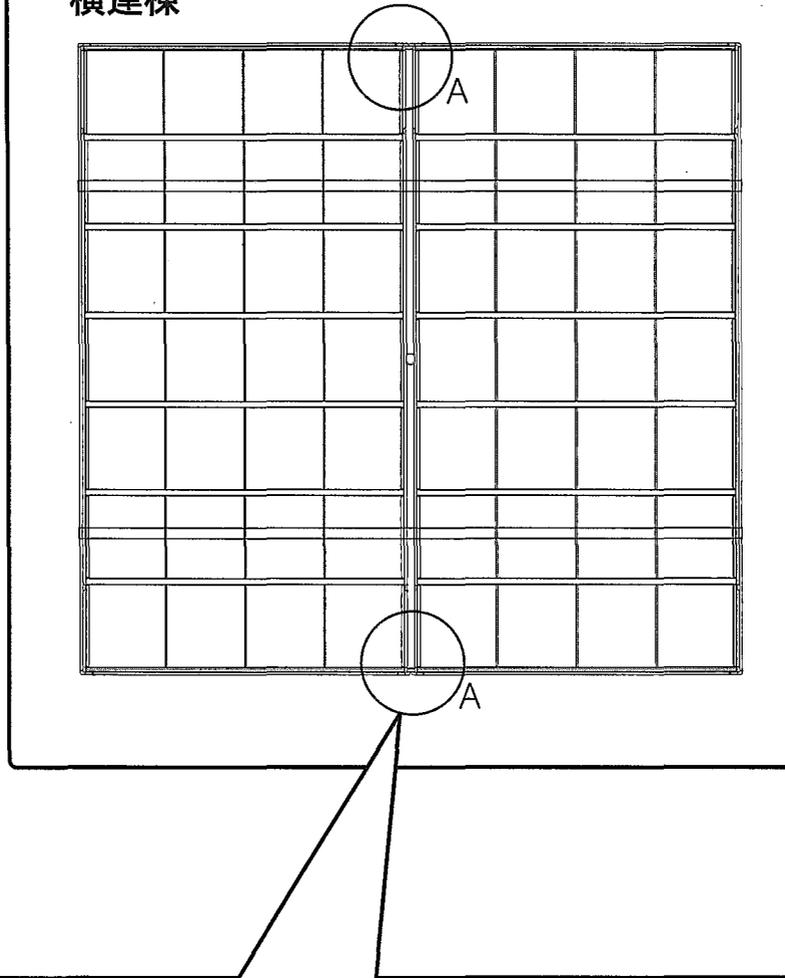
- 土間コンクリートの厚みが100mm以上であること。
- 有筋であること。
- 土間コンクリートの下部に、50mm×50mm以上の突起部を基礎全周に設けること。
- 基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が左記寸法以上であること。
- 地耐力が50Kn/m²以上であること。



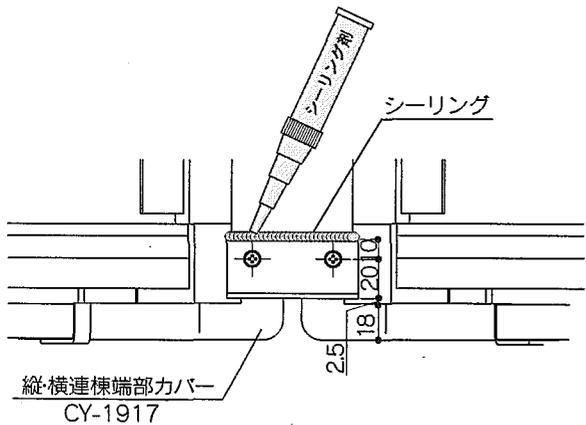
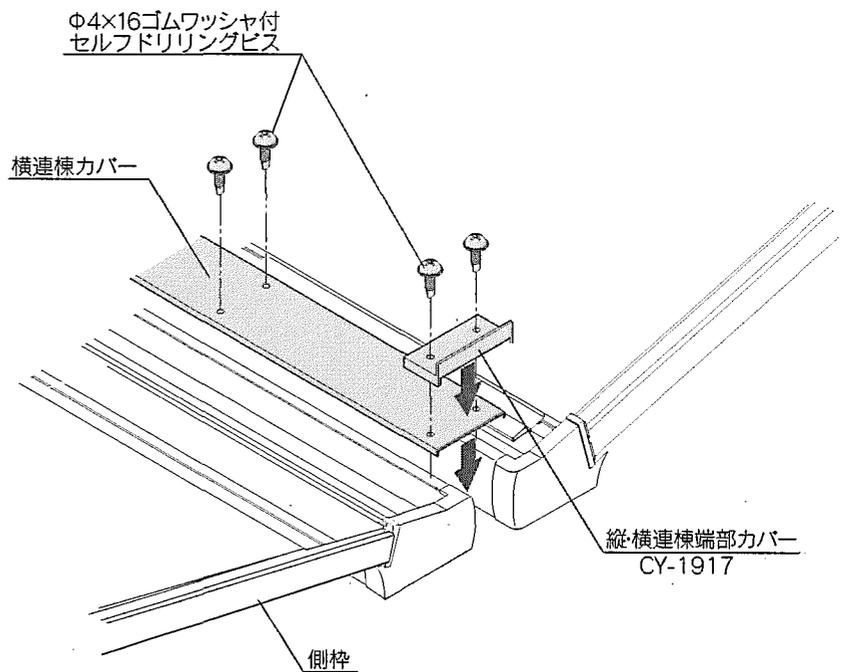
日本エクステリア工業会
カーポート基礎共同研究会
報告書より

※本図は2次元トラス梁横2連棟を示します。

横連棟

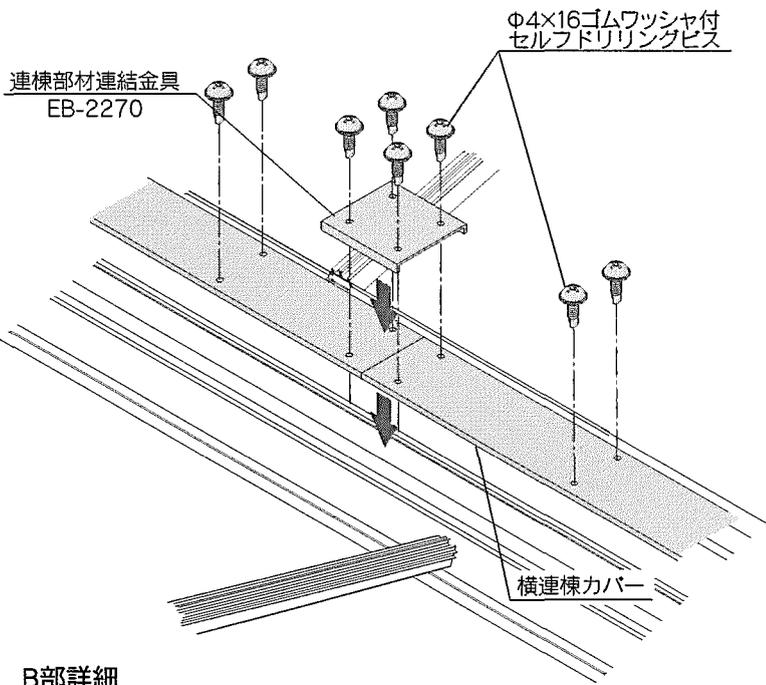
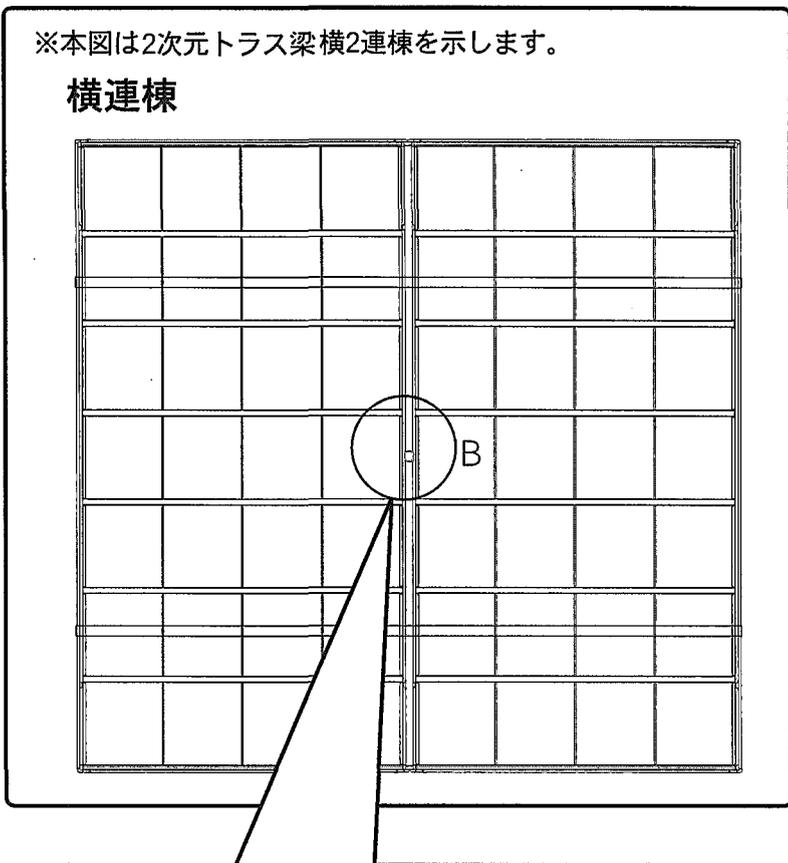


- ① 連棟部に横連棟カバーを載せ、 $\Phi 4 \times 16$ ゴムワッシャ付きセルフドリリングビスにて取付けてください。
- ② 縦・横連棟端部カバーを取付け横連棟カバーと共に桁にビス止めしてください。
- ③ 連棟接続部をシーリングしてください。



※本図は2次元トラス梁横2連棟を示します。

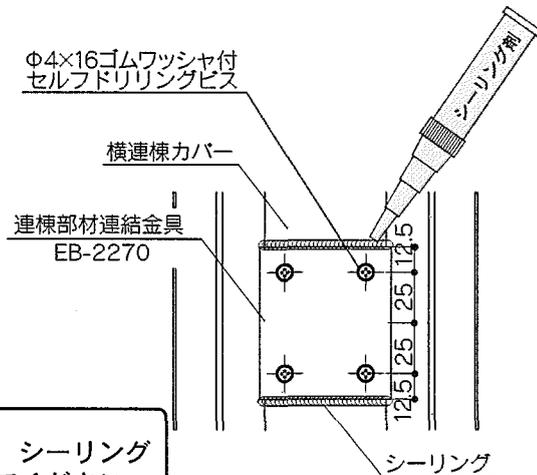
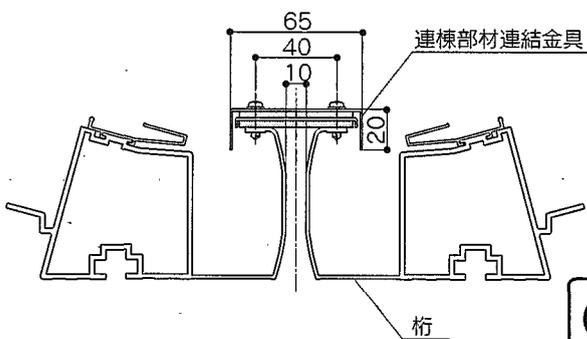
横連棟



④ B部は連棟部材連結金具にて、横連棟カバーと共締めで桁にビス止めします。

⑤ 連棟接続部をシーリングしてください。

B部詳細



❗ 屋根材を施工する際、シーリングで屋根材を汚さないでください。

※本組立作業完了後、屋根材取付けを行ってください。